

ALTA Ver.5発売

コンピュータシステム研究所

「自動アシスト機能」強化で、スピード向上



レンダリング後も変更可能になっており、作成しやすさも追求されている

部品や外構等の自動入力を追加

コンピュータシステム研究所(東京都、長尾良幸社長)は、同社主力ソフトの住宅プレゼンシステムALTA(アルタ)の「ALTA Ver.5」の販売を始めた。

新商品は、1棟完成までの作成スピードを大きく向上させることを目的にバージョンアップを図っている。ALTAは、新築住宅及びリフォーム営業

に最適なプレゼンテーションシステム。パースを作成するなかで、よりイメージを明確化している。CADのよろに難しい知識を必要とせず、パースやプレゼンシート、見積書等を誰でも簡単に短時間で作成できる。ALTA Ver.5の特徴的な機能は、各機能における自動入力機能。部品自動アシスト入力として、インテリア・家具・住宅設

備機器等の部品データをワンタッチで自動入力できる。外構自動アシスト入力は、エクステリアのパターンと塀・フェンス・アプローチ等を選択するだけで、外構を自動入力できる。また、レンダリング設定自動として、最適なレンダリングの設定を自動で選択し、パースを作成できる。レンダリングの詳細設定が難しい場合や面倒な場合に便利な機能だ。このほか、敷地情報自動入力として、従来の敷地境界寸法や配置寸法の自動生成機能に

加え、敷地コーナート等の敷地関連情報を自動で生成できる。また、建設地における付加価値を与える機能として、建設予定地の写真とALTAで作成した3Dプランを合成したイメージを作成できるフォトモンタージュも備えている。ALTAは、見積もりの円滑化に向けた木拾い機能を持つ。さらに、ALTA for VRは、同社のプレゼンシステムALTAで作成した3Dプランを3Dプロジェクターで壁面に投影すること

で、実寸大のバーチャル空間を演出するなど、機能を強化してきた。今回は、本流のパース作成の機能円滑化で、より幅広いユーザーに利用してもらえようとしている。